

100年でわしが忘れられんのは71年前の福山空襲じゃ。

まちの80%が焼けてしもうてなあ。亡くなったり大けがをした人がたくさんおった。つらかったなあ…。



福山空襲は学校で習いました。中央公園の母子三人像や慰霊碑にも行ったんですよ。

私も人権平和資料館で話を聞いたよ。

戦争によってまちも人も傷ついてしまった…。まちに潤いを与え、みんなの心に和らぎを取り戻そうと、ばらの苗を植えたんじゃ。



だから「ばらのまち ぶくやま」って呼ばれるんです。

ぶくやまし 福山市の誕生と発展

福山市は、1916年(大正5年)7月1日に誕生しました。広島県下では広島・尾道・呉に次いで4番目、全国では73番目の市で、当時の人口は約32,000人でした。

市制施行まもなく起こったコレラの発生や米騒動、芦田川の堤防決壊による大水害、1945年(昭和20年)8月8日の福山空襲などによって人々

や街は何度も傷つきましたが、その度に力強く立ち上がり、復興を続けてきました。

近隣地域と合併し市域・人口も拡大・増加した福山市は、1998年(平成10年)には中核市となり、現在は人口約47万人の中国地方で4番目の都市に成長しました。

じんけんそんちょう 人権尊重のまちづくり

「いつまでも住み続けたい」と思えるまちづくりを進めるために、総合計画をはじめさまざまな指針や計画が策定されています。

「人間環境都市」をまちづくりの基本理念とし、一人ひとりの人権が尊重され、住みやすさ、働きやすさが保障される人間主体の都市をめざし、恒久平和の維持と基本的人権の尊重、市民本位の行政を柱とした取組が進められています。

とりわけ人権の尊重に関しては、誰もがかけがえのない大切な存在として認められる「人権文化が根付いた地域社会の実現」をめざしています。



「人権」って何ですか？



人間としての権利ってこと？



人間らしく幸せに生きる権利を「人権」というんじゃ。みんなが暮らしのなかで、自然にお互いの人権を考へることができて、思いやり支え合うことが大切じゃね。



心豊かな暮らしができたら素晴らしいね。

